

第96期 中間ビジネスレポート

2020年4月1日～2020年9月30日

証券コード：6588

東芝テック株式会社

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援、ご高配を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。
ここに、2020年度(第96期)上期における
当社グループの事業の概況等をご報告申し上げます。

2020年12月

代表取締役社長 錦織弘信

事業の概況

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大による急速な景気悪化には歯止めがかかったものの、本格的な景気回復には至らず、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況下で、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止のための様々な対策を講じつつ、徹底した固定費削減や構造改革等に取り組み、「店舗・オフィスを起点に顧客現場の課題を解決するソリューションパートナー」を目指して、「ソリューション事業拡大」、「コアビジネス業容拡大」及び「原価低減加速、生産性向上による安定収益体制の構築」に鋭意努めてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国内及び海外市場において主力商品であるPOSシステム及び複合機の需要が落ち込むとともに、営業活動も制限されたことなどから、売上高は1,917億35百万円(前年同期比23%減)となりました。また、損益については、売上高が減少した影響などから、営業損失9億30百万円(前年同期は101億74百万円の営業利益)、経常損失13億88百万円(前年同期は96億75百万円の経常利益)となり、構造改革に伴う特別損失を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損失69億68百万円(前年同期は78億89百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

なお、中間配当については、上記の業績や経営環境などを総合的に勘案した結果、2020年5月26日の2020年3月期決算発表時の配当予想のとおり、無配とさせていただきます。株主の皆様におかれましては、何卒ご了承賜りたいと存じます。

通期の見通し

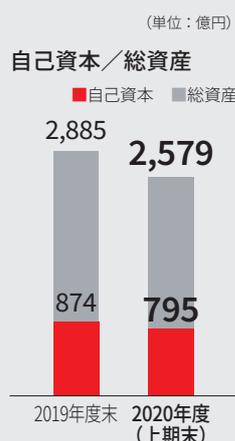
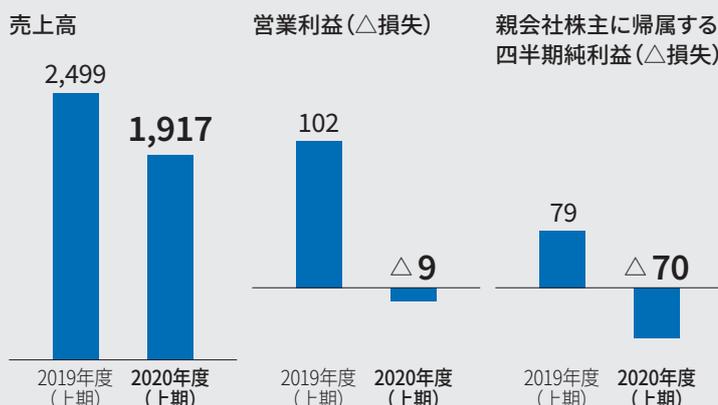
売上高は2020年5月26日に発表しました2021年3月期の予想から100億円下方修正し4,000億円を見込んでおります。これは、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえるとともに、主に米州及び欧州において新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念される中で、2020年10月以降のプリンティングソリューション事業の業績回復が当初の想定より若干遅れるリスクを考慮したことなどから、前回発表予想に比べて売上高が減少する見込みとなったためです。一方、損益面につきましては更なる固定費削減に取り組むことなどにより、前回発表予想を据え置いております。



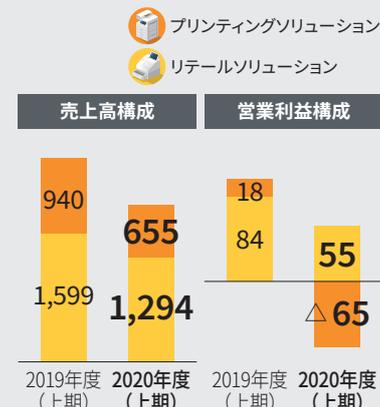
2020年度上期の連結業績

	2020年度 上期の業績	2020年度 通期の予想
売上高	1,917億円	4,000億円
営業利益(△損失)	△9億円	100億円
親会社株主に帰属する 四半期純利益(△損失)	△70億円	5億円

連結業績ハイライト



セグメント別グラフ



東芝テックカレンダー 2020

上期のトピックス 月の区分は原則としてトピックスの発表月です。

5月



電子レシートで新型コロナウイルス感染リスクの軽減に貢献

電子レシートシステム「スマートレシート®」の月額利用料を6月1日より無償化し、小売店での導入を支援いたします。

スマートレシートの導入は小売店スタッフと消費者の接触機会を減らし、新型コロナウイルス感染リスクの軽減に貢献します。また、キャッシュレス決済との組合せにより、接触機会をさらに低減することができます。

● イメージ図:「非」接触

スーパー、ドラッグストア等、必要不可欠な買い物での物理的な濃厚接触を「3非」で最小化、短時間化する

- ①キャッシュレス 現金 「非」接触
- ②カードレス 決済カード 「非」接触
- ③ペーパーレス 紙レシート 「非」接触



リアルレス >>> デジタルシフト
支払い時間の短時間化

ソーシャルディスタンス

7月



北海道十勝エリアでの電子レシートを活用した販売促進連携

北海道十勝エリアの113店舗において、2020年7月22日から2021年1月31日までの6か月間、『～使っておとくめぐって発見～ レシーとかちラリープロジェクト』を実施いたします。

本プロジェクトでは、当社が運営している電子レシートシステム「スマートレシート®」を使用し、北海道十勝エリア内で業種、業態の異なる小売店舗における販売促進連携(買い回りラリー企画など)による買い回りを実現する取り組みです。

本プロジェクトを通じ、十勝に暮らす方々にとっての買物利便性の向上、および経済活性化を目的とし、期間中1万人の参加を目指します。



「レシーとかちラリーロゴ」

4月

5月

6月

6月
JUN

東芝アメリカビジネスソリューション社が
Keypoint Intelligence社
Buyers Lab PaceSetter Awardを受賞



6月
JUN

「東芝テック
アクセラレータープログラム2019」
Demo Day開催

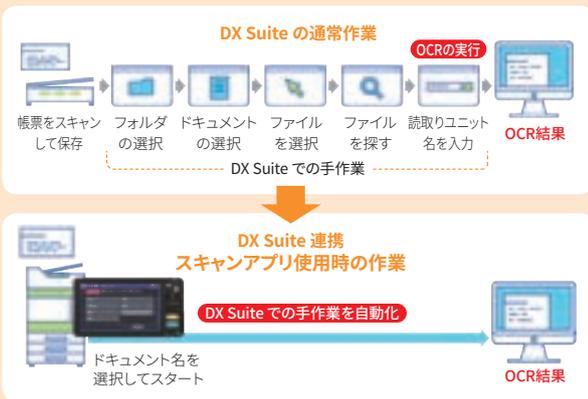


9月



帳票の電子化から文字の読み取りまで自動化

「e-STUDIOシリーズ」とAI inside 株式会社のAI-OCR「DX Suite」の連携アプリケーションにより、帳票の電子化からAI-OCR処理を行うまでの一連の業務を、複合機のタッチパネル操作だけで実行することができます。従来は、複合機で帳票の電子化をした後に、DX Suiteの画面上から電子化した帳票をアップロードする必要がありました。複合機から帳票のアップロードを可能とすることでデータ入力業務(文字の読み取り)だけでなく、帳票電子化業務のプロセスも効率化を実現いたします。





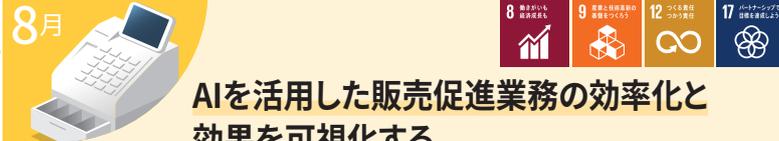
東芝テックとTポイント・ジャパン、電子レシート「Tレシート byスマートレシート」を開始

当社と株式会社Tポイント・ジャパンは電子レシートサービス領域において協業し、スマートフォンを軸にしたより便利で快適なライフスタイル提案を目指すモバイルシフト戦略のもと、電子レシートサービス「Tレシート byスマートレシート」(以下「Tレシート」)を開始しました。



このたびサービス提供をする「Tレシート」は、当社の「スマートレシート」機能連携をもとにした電子レシートサービスです。店頭でモバイルTカードを提示するとお店でのお買い物レシートが電子化され、「Tポイントアプリ」よりお買い物履歴としてすぐにレシート明細を確認することができます。また「Tレシート」で受け取った電子レシートはスマートレシートアプリでも確認できます。

紙のレシートを電子化することで、環境に配慮したエコなサービスとして位置づけています。



AIを活用した販売促進業務の効率化と効果を可視化する「PromotionOne(プロモーションワン)」を発売

「PromotionOne」は、当社が提供している「テッククーポンデリ^{※1}」、「PrimeStore^{※2}(プライムストア)」との連携により、POSデータを自動で収集し、レシートクーポンの販売促進効果をAIで分析し、直感的にわかりやすいグラフや表形式にまとめて提供するクラウドサービスです。分析AIエンジンは、複数の分析アルゴリズムを搭載しており、分析結果の中から、最も精度の高かったものを自動的に選択します。

●商品コンセプト

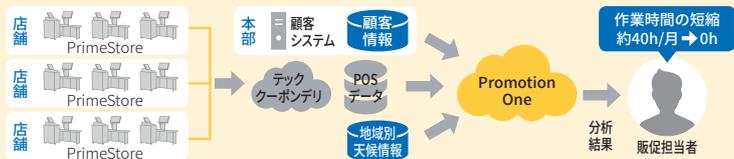
必要な情報を自動で収集
テッククーポンデリ、PrimeStoreとの連携により、大量のPOSデータおよび必要なデータを自動収集・集計するサービスをご提供。

レシート販促の効果がAIでわかる
売上分析AIエンジンが、レシート販促とは無関係の売上を推計。レシート販促による売上の伸びを明らかにしてご提供。

販促業務をご支援(オプション)役務提供
現状分析 → 課題抽出 → 販促企画立案までを一貫して請負う役務サービスをご提供。
※店頭販促を得意とする広告代理店と協業



●概要図



※1 テッククーポンデリ：PrimeStoreに連携可能な販促レシート発券クラウドサービスです。
※2 PrimeStore：量販店向けトータルソリューションストアシステム(POSを中心とした店舗システム)です。

7月

7月 JUL 「スマートレシート[®]」とスマートフォンアプリの連携機能で、会計時のカードレスとペーパーレスを推進し、接触機会の低減に貢献



8月

9月 SEP 「ウォークスルーショート型RFIDトンネル式ゲート:WG-900」を発売



トピックス

未来を感じ、未来を共に創るショールーム「TEC 01 SIGHT SHOWROOM」オープン

新しいコンセプトのショールーム「TEC 01 SIGHT SHOWROOM(テック・ゼロワン・サイト・ショールーム)」を2020年10月にオープンしました。

「TEC 01 SIGHT SHOWROOM」は当社の最新ソリューションをご紹介するだけでなく、新しい顧客接点をご提案するコンセプトソリューションや先端技術を体験できるショールームとなっております。加えて、お客様やパートナー企業との共創の場としての機能も備えたショールームです。

※「TEC 01 SIGHT SHOWROOM」は予約制となっております。ご予約は当社営業担当までお問い合わせください。

所在地 〒108-6221 東京都港区港南2-15-3 品川インターシティC棟 21階



会社概要

会社概況 (2020年9月30日現在)

商号	東芝テック株式会社 Toshiba Tec Corporation
設立	1950年2月21日
本店所在地	東京都品川区大崎1-11-1 (ゲートシティ大崎ウエストタワー)
連結子会社	国内：8社／海外：69社
資本金	39,970百万円
従業員数	連結：19,272名／単独：3,736名
発行済株式総数	57,629,140株
自己株式数	2,617,050株
株主数	8,051名

役員状況 (2020年9月30日現在)

取締役及び監査役

代表取締役社長	錦織 弘信 (社長執行役員)
取締役	内山 昌巳 (専務執行役員) 井上 幸夫 (常務執行役員) 山田 雅広 (常務執行役員)*3 金田 仁 (常務執行役員) 山口 直大 (執行役員) 武井 純一 (執行役員) 加茂 正治 桑原 道夫 *1 長瀬 眞 *1 森下 洋司 *1 青木 美保 *1
監査役	佐藤 吉成 [常勤] 富沢 幸樹 [常勤] 奥宮 京子 *2 梅葉 芳弘 *2

執行役員 (取締役兼務者を除く)

執行役員	日吉 武司 江口 健 古山 浩之 河野 英治 小山 幸男 鈴木 淳史 平等 弘二 大西 泰樹 田中 康己 嶋崎 裕之
------	---

*1 東京証券取引所の定める独立社外取締役であります。

*2 東京証券取引所の定める独立社外監査役であります。

*3 取締役 山田雅広 (常務執行役員) は、2020年9月30日をもって、取締役及び常務執行役員を辞任いたしました。

株式事務についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会関係／3月31日 期末配当関係／3月31日 中間配当関係／9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行(株)の本店及び全国各支店で行っております。

注記

- (1) 記載金額は、原則として億円単位は表示単位未満を四捨五入、百万円単位は表示単位未満を切り捨てて表示しております。
- (2) 事業別売上高は、事業間の売上消去前にて表示しております。
- (3) 業績予想については、2020年11月9日に公表した内容を記載しております。これは、当社が公表日現在入手していた情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。



東芝テック株式会社

当社WEBサイトにて株主様、投資家の皆様向けの情報をご覧いただけます。



投資家情報 (IR)

株価、株式情報、財務・業績、IR資料等の情報をご紹介します。

社会・環境活動 (CSR)

環境、社会貢献活動などのCSR活動をご紹介します。

<https://www.toshibatec.co.jp/>